

2. 関節リウマチ以外の全身性結合組織病（膠原病）を含むリウマチ性疾患

（研修カリキュラム目標2（3）リウマチ性疾患の診断と治療方針）

番号	大項目	中項目	小項目	最小項目
1	全身性結合組織病	a 関節リウマチ（悪性関節リウマチ、Felty症候群）		
		b 若年性特発性関節炎		
		c 全身性エリテマトーデス（薬剤誘発性ループス）		
		d 強皮症（全身性硬化症）（CREST症候群を含む）		
		e 多発性筋炎、皮膚筋炎、封入体性筋炎		
		f 血管炎症候群	1) 結節性多発動脈炎	
			2) ANCA関連血管炎	①顕微鏡的多発血管炎 ②好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（Churg-Strauss症候群） ③多発血管炎性肉芽腫症（Wegener肉芽腫症）
			3) 大動脈炎症候群（高安動脈炎）	
			4) 低補体性蕁麻疹性血管炎	
			5) その他の血管炎	①巨細胞動脈炎 ②過敏性血管炎 ③IgA血管炎（Henoch-Schönlein紫斑病） ④クリオグロブリン血症 ⑤川崎病 ⑥Buerger病 ⑦中枢神経系血管炎 ⑧Cogan症候群 ⑨抗糸球体基底膜抗体病（Goodpasture症候群） ⑩その他
		g 抗リン脂質抗体症候群		

		h 混合性結合組織病		
		i Behçet病		
		j Sjögren症候群（一次 性、二次性）		
		k 重複症候群		
		l その他	1) 再発性多発軟骨炎	
			2) 結節性紅斑	
2	脊椎関節炎および 類縁疾患		3) 成人Still病	
			4) リウマチ熱	
			5) 分類不能関節炎	
		a. 脊椎関節炎	1) 強直性脊椎炎	
			2) 乾癬性関節炎	
			3) 炎症性腸疾患関連 関節炎	
3	変形性関節症		4) 反応性関節炎(細菌 性腸炎、細菌性尿道 炎、細菌性上気道炎に 伴う関節炎)	
			5) 分類不能脊椎関節 炎	
		b. その他	1) 掌蹠膿疱症性骨関 節炎	
			2) SAPHO症候群	
		a 一次性変形性関節症	1) 変形性膝関節症	
			2) 変形性股関節症	
4	感染に伴う関節炎		3) 変形性脊椎症	
			4) 変形性指関節症 (母指CM関節症、 Heberden結節、 Bouchard結節)	
			5) 全身性変形性関節 症	
			6) びらん性変形性関 節症	
		b 二次性変形性関節症		
		a 細菌性関節炎		
		b 結核性関節炎		
		c 真菌性関節炎		
		d スピロヘータ関節炎 (ライム病を含む)		
		e ウイルス性(C型肝炎ウ イルス、B型肝炎ウイル ス、HIV、HTLV-1、パルボ ウイルス、風疹ウイルス 感染などに伴う関節炎)		

5	代謝性および内分泌疾患に関連する関節炎	a 結晶誘発性関節炎	1) 痛風 (Lesch-Nyhan症候群を含む)	
			2) 偽痛風 (ピロリン酸カルシウム結晶沈着症)	
			3) その他の結晶誘発性関節症 (ハイドロオキシアパタイト沈着症を含む)	
		b 他の代謝・内分泌異常	1) アミロイドーシス (原発性、続発性)	
			2) 先天性代謝障害 (Marfan症候群、Ehlers-Danlos症候群、遺伝性ヘモクロマトーシス、オクロノーシスなど)	
			3) その他の内分泌・代謝疾患に伴う関節炎	①糖尿病
				②甲状腺疾患
				③その他
6	腫瘍性疾患	a 原発性 (骨軟骨腫など)		
		b 続発性 (血液疾患・悪性腫瘍に伴う関節炎)		
		c その他の腫瘍類似疾患 (色素性絨毛結節性滑膜炎、ガングリオン、滑膜骨軟骨腫症など)		
7	神経血管障害	a 神経病性関節症 (Charcot関節)		
		b 圧迫症候群	1) 絞扼性神経障害 (手根管症候群など)	
			2) 神経根障害	
			3) 脊柱管狭窄症	
		c 複合性局所疼痛症候群 (complex regional pain syndrome)		
8	関節外疾患	a 関節周囲の疾患	1) 滑液包炎	
			2) 肩関節周囲炎、いわゆる五十肩	
			3) 腱鞘炎 (弾撥指、de Quervain病など)	

			4) エンセソパチー（腱 付着部炎）	
			5) 上腕骨外側上顆炎 （テニス肘）、内側上 顆炎	
			6) 嚢胞（腫）（Baker 嚢腫など）	
		b 椎間板疾患（椎間板ヘル ニアや椎間板炎など）		
		c 腰痛症		
9	骨軟骨疾患			
		a 骨粗鬆症	1) 原発性	
			2) 続発性	
		b 骨軟化症		
		c 肥厚（大）性骨関節炎		
		d びまん性特発性骨増殖 症（Forestier病）		
		e 骨Paget病		
		f 骨炎、軟骨炎	1) 肋軟骨炎（Tieze 病）	
			2) 恥骨骨炎	
			3) 限局性骨炎（硬化 性腸骨骨炎）	
		g 骨壊死	1) 無菌性骨壊死（大 腿骨頭壊死など）	
			2) 骨端症Osgood- Schlatter病など）	
		h 股関節異常（先天性股 関節脱臼、Perthes病な ど）		
		i 小児の解剖学的異常	1) 脊柱側弯症など	
			2) 内反膝、外反膝	
			3) 内反足	
			4) 扁平足	
10	その他の リウマチ性疾患お よび関連疾患	a 回帰性リウマチ		
		b 多中心性細網組織球症		
		c サルコイドーシス		
		d 間欠性関節水症		
		e 脂肪織炎・結節性紅斑 （Weber-Christian病を含 む）		
		f RS3PE		
		g リウマチ性多発筋痛症		
		h 好酸球性筋膜炎		

	i	キャスルマン病		
	j	血友病に伴う関節症		
	k	種々の疼痛症候群	1) 線維筋痛症	
			2) 慢性疲労症候群	
	l	IgG4関連疾患		
	m	自己炎症性疾患	1) 家族性地中海熱、2) クリオピリン関連周期性熱症候群、3) TNF受容体関連周期性症候群 (TRAPS)、4) Blau症候群/若年発症サルコイドーシス、5) PFAPA症候群、6) その他の自己炎症性疾患	
	n	先天性補体欠損症		
	o	その他		

専門医資格維持施行細則「診療実績」

3. リウマチ性疾患治療薬のリスクマネジメント

(研修カリキュラム目標2 (4) 12「リウマチ性疾患の治療（手術・処置技術を除く）」)

番号	大項目	中項目
12	リウマチ性疾患治療薬（特に分子標的治療薬）のリスクマネジメント	a 感染症（ワクチン、結核・B型肝炎・ニューモシスチス肺炎等の化学予防を含む）
		b 呼吸器障害
		c 血液障害（医原性免疫不全関連リンパ増殖性疾患を含む）
		d 腎障害
		e 消化器障害
		f 心・血管系障害
		g 神経系障害
		h 内分泌障害
		i 皮膚・粘膜障害
		j 感覚器障害
		k 運動器障害
		l 合併症を有する患者に対する治療
		m 小児に対する治療
		n 高齢者に対する治療
		o 妊娠・出産・授乳への影響
		p 悪性腫瘍
		q その他の副作用

専門医資格維持施行細則「診療実績」

4. 整形外科的コンサルテーション、リハビリテーション、生活指導、周産期、移行期医療、在宅ケア

(研修カリキュラム目標2 (4) 13、14、15、16、17「リウマチ性疾患の治療（手術・処置技術を除く）」)

番号	大項目	中項目	小項目	最小項目
13	リハビリテーション	a リハビリテーションの概念 b 理学療法、作業療法の役割 c 機能障害、活動制限、参加制約の評価法（関節可動域測定、徒手筋力テスト、ADL評価、QOL評価） d 物理療法 e 運動療法 f 装具療法	1) 温熱療法 2) 水治療法（温泉療法・運動浴など） 3) マッサージ 4) 牽引療法 5) 電気療法 1) 関節可動域運動 2) 筋力増強運動 1) 上肢・下肢・頸部・体幹装具の種類、適応 2) 各種自助具、杖の種類、適応	
14	生活指導、在宅ケア			
15	血液浄化療法	a 白血球除去療法 b 血漿交換療法 c 免疫吸着療法		
16	移行期医療	a 移行医療・支援の概念 b 移行医療・支援の対象となるリウマチ性疾患の知識と疫学 c 移行医療・支援の対象となるリウマチ疾患の病態・合併症と治療（薬剤を含む） d 移行患者の診療における留意点（精神発達・心理を含む）		
17	リウマチ性疾患患者における妊娠・出産・授乳	a プレコンセプションケア b 妊娠がリウマチ性疾患に与える影響 c リウマチ性疾患が妊娠に与える影響 d 薬剤が妊娠・授乳に与える影響		